

取材先	下関東部の文化財を見直す会		
企画名	漂泊の自由律俳人 山頭火 第二弾！		
備考			
取材日	2022年5月17日(火) 天候[晴れ] [10:00~11:30]	取材地	亀山八幡宮 儀式殿

レポート

昭和56年発足の「下関夜話会」も、昨今の新型コロナウイルス感染拡大の影響でやむなく毎月開催を中止せざるを得ない状況が続きましたが、今年度は4月開催を皮切りに、5月は415回目となる『漂泊の自由律俳人 山頭火』が2部形式で亀山八幡宮の儀式殿において開催されました。

第一部は「山頭火と小串行乞と川棚温泉」で、豊浦映像クラブが山頭火にちなんだ映像を映し出し、沖田氏のナレーションで演歌『山頭火』を歌った村田英雄の実父が小串出身であったことや、山頭火が歩いた下関や小串、川棚温泉など滞在中に詠んだ俳句を紹介しました。

第二部では、司会の井手氏が平成31年の第384回のおりに、作曲家の加藤さとる氏が来られた縁があったことなどを話し「歌でつづる山頭火と作曲家加藤さとるの世界」ジャズシンガーで妻の浜崎むつみさんを紹介しました。ステージでは演歌『山頭火』からはじまり、加藤氏が作曲した山頭火の俳句の曲集「山頭火の世界」を朗読を交え歌を披露しました。

芸歴61年を迎える浜崎むつみさんは来月で81歳になる今も、令和元年に亡くなられたご主人の加藤さとる氏の音楽の世界とともに、精力的に歌手活動を展開しています。

参加者一同、浜崎むつみさんによるプロの歌唱力に圧倒され、拍手喝采のなかアンコールの声も2回飛び出し、浜崎さんはお得意のジャズナンバーで締めくくりました。

次回、6月13日(月)は“戦地からの愛のメッセージ”で、講師は祖父伊藤半次の絵手紙400通を辿る会の伊藤博文氏です。興味のある方は是非ご参加ください。

状況写真



ナレーターの沖田氏



浜崎むつみさん



司会の井手氏



愛加藤氏の帽子

